

## 至仏山山行報告



【山行日】2016年9月17日(土) 曇り後晴れ  
【集合】岩舟支所P AM 5:00  
【費用】マイカー1台 : 5,000円  
【メンバー】CL:鈴木ユ 岩淵、島田、鈴木ヤ、藤原、  
【コースタイム】岩舟支所P5:00＝戸倉P6:55/7:10＝  
鳩待峠7:35/7:50～山ノ鼻8:50～至仏山11:55/12:40  
～オヤマ沢田代13:40～鳩待峠14:35/14:50＝  
戸倉P15:30＝岩舟支所P17:50

久しぶりに至仏山に登る計画を立てた。今回は、山ノ鼻から登り専用の登山道を登り山頂を目指すことにした。戸倉の駐車場に車を止め、ワゴンタクシーに乗り換えて鳩待峠まで行く。鳩待峠に着くと、ワゴンタクシーは

手前の駐車場までで、ここから少し歩いて鳩待峠に行くように変わっていた。

鳩待峠でトイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発し、まずは山ノ鼻を目指し下って行く。天気は高曇りで明るく、途中の木道から至仏山の山頂を望めた。

ブナやミズナラ等の樹林中を下って行き、川上川を渡ると平坦な道となり間もなく山ノ鼻に到着する。

山ノ鼻には、ビジターセンターやトイレ、山小屋があり、多くのハイカーで賑わっていた。

トイレを済ませ、尾瀬植物研究見本園の一部を通り樹林帯の登山道に入っていく。

いきなり急登の連続で、木の階段や岩の急坂を登るようになる。ゆっくりしたペースで登り、後から登ってきた登山者に道を譲る。岩畳や階段の道を40分ほど登ると樹林帯を抜け、視界が開けて開放的な気分になるが、本格的な登りはこれからだ。振り返ると、眼下に尾瀬ヶ原が広がり、その奥には燧ヶ岳がどっしりと聳えている。歩きにくい階段や、滑りやすい蛇紋岩の岩場を登るが、オヤマリンドやアキノキリンソウ、ウメバチソウの花が疲れを癒してくれる。高天ヶ原のベンチで休憩し、昼食の Pasta の準備をする。平ヶ岳や日光連山を眺めながら、緩やかに登って行くと至仏山



山頂に到着する。山頂からの展望は申し分なく、谷川連峰や日光連山、会津駒ヶ岳等360度の大展望が広がっている。山頂は広いが、蛇紋岩が露出し平坦な場所が少ないので休憩するには良い場所が無い。岩の間の狭い平坦な場所を見つけ、昼食の準備をする。本日の山ご飯は、本格的なトマトパスタとほうれん草と卵のスープだ。途中で水に浸したパスタを茹で、フライパンにオリーブオイルをしいてニンニクを炒めると、ニンニクの香りが山頂に漂う。特製トマトソースのパスタとスープが出来上がり至福のひとつ。風も無く穏やかな山頂でいただく山ご飯は、日常では味わえない極上の美味しさだった。昼食が済んだら、

後片づけをして下山する。下山は、小至仏山からオヤマ沢田代を経由し鳩待峠に下る。

至仏山から小至仏山までは、滑りやすい蛇紋岩の道が続き、足元に注意して歩く。

前方に上州武尊山や、右下にならまた湖の展望を楽しみながら下り、緩やかに登り返すと小至仏山に着く。



360度の展望を楽しんで、少し下ると木道になり小至仏山のお花畑だが、草紅葉が始まっていた。さらに下るとベンチがあり、ナシとまんじゅうを食べて最後の休憩を取る。この先で笠ヶ岳への道を右に分けると、オヤマ沢田代の湿原に出る。湿原を歩いて樹林帯に入り、整備された木道を歩くようになる。さらに下るとブナなどの広葉樹に変わり、溝状に深く掘れた登山道から傾斜が緩やかになると鳩待峠に降り着く。乗車券を買い、トイレを済ませて駐車場に行くと、丁度5名待ちのワゴンタクシーに乗れ、ラッキー！！待ち時間無しでタクシーに乗り、戸倉の駐車場に着き岩舟支所に向かう。途中、F原さんが「大根を買いた

い」と言い、3本100円の看板を見つけ直売所に寄る。大根だけでなく、トマトやトウモロコシも安く、皆さん大喜びで買っていた。我輩もトマトを2袋買ったが、とても美味しくしばらく食べることが出来た。帰りの高速道も順調で、予定通り岩舟支所に帰着出来た。

